海尻山
醫王院時報
天台宗

発行所：海尻山医王院寺務所
〒384-1301 長野県南佐久郡南牧村海尻528
電話：0267-96-2631
Eメール：iouin@dia.janis.or.jp

東日本大震災一周忌慰霊法要を厳修

宮城県気仙沼市海岸山観音寺　平成２４年３月１１日

↑　武者小路千家家元第十五代後嗣の千宗屋師による献茶の供養。千師は、天台宗僧侶でもある

→　全国各地から集い犠牲者の冥福を祈る天台宗僧侶と第２５６世天台座主・半田孝淳猊下。昨年５月１１日の慰霊法要に続き、被災地で祈りを捧げる。

↓　祈りを捧げる気仙沼市観音寺の檀信徒

↓　震災発生から１年の３月１１日、各地で慰霊法要が営まれた。地元、気仙沼市主催の追悼式も地震発生時に合わせて開催されたのだが、遺族のひとりは「黙祷だけでは淋しい。ここでは僧侶の方々が拝んでくださるので」という。遺族の悲しみは１年経っても消えることはない

ともに物故者の冥福を祈る

東日本大震災から一年を迎えた三月十一日、半田孝淳天台座主猊下は、宮城県気仙沼市の観音寺において、「東日本大震災物故者一周忌慰霊法要」を厳修した。

第二五六世天台座主・半田孝淳猊下（94）（上田市別所北向観音常楽寺前住職）が被災地で法要を執り行うのは、昨年五月十一日に続いて二回目。

一周忌法要の会場となった観音寺は、世界遺産平泉・中尊寺・毛越寺、山寺立石寺（いずれも天台宗）に並ぶ東北を代表する寺院で、檀家千五百件のうち、三分の一にあたる五百件が津波による被害を受けた。檀信徒の犠牲者は百五十二名にのぼり、気仙沼市の死者・行方不明者千三十四名の一割にも及ぶ。

当日は、四百名近い遺族が参列、また全国から天台宗僧侶約百名が出仕した。今回の慰霊法要には、武者小路千家第十五代家元後嗣である千宗屋師による献茶も行われた。

半田座主猊下は、法要の中で、肉親を奪われ、住居を破壊され、また家はあっても帰れない人々に対して「その思いを忖度するに胸潰れる思いである」と述べ、大震災が発生した十四時四十六分には、参列者全員とともに御十念（念仏）を唱え、物故者の冥福を祈った。

また、「多くの尊い人命を奪ったこの大震災は、天災とはいえ、人々の心に深い苦しみと悲しみを植え付けました。大勢の人が耐え忍んで、復興に向け力を尽くしています。国中、世界各国から支援が寄せられ、皆様を支えようとしております。家族を失った悲しみは、さぞ大きいことかと存じますが、残された皆さまには、心を強く持って欲しい。根底から立ち上がることは簡単ではありませんが、困難な時には手と手を取り合い、手を合わせて神仏に祈りを捧げて頂きたい。必ずや一筋の希望の灯火を見いだせる。どうか一歩一歩ご自身の力で歩み出して頂きたい。皆さまに安寧なる時が一日も早く訪れるよう心より祈念しております」と述べられると、会場からは遺族のすすり泣きがもれた。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

未曽有の災害から一年が経過したが、問題は山積みである。瓦礫は撤去されたが、最終処理も家屋の代替地の選定も進んでいない。特に仮設住宅の使用期限は二年と定められており、まもなくその期限を迎えようとしている。被災者に寄り添った支援が求められる。

〈広報〉海尻山醫王院時報（不定期発行）　平成24年8月1日　第５号（お盆号）

醫王院檀徒総代会開催

平成２４年５月２６日（土）

平成２４年５月２６日（土）に海尻山醫王院檀徒総代会が開催された。総代２３名出席のもと、各種案件が審議され、全員一致で承認された。

決算・予算を承認

去る五月二十六日、海尻山醫王院にて平成二十四年度檀徒総代会が開催された。平成二十三年度事業報告が住職よりなされ、同会計決算、監査報告、また平成二十四年度の事業計画・予算についても審議され、総代全員一致で承認された。

また、檀徒総代の交代について、田中日吉氏（芦平）・井出澤宗三氏（野辺山）の両氏に代わり、田中正登氏（芦平）・井澤利夫氏（野辺山）が就任することなった。

終了後、八ヶ岳高原ロッジにて副住職結婚報告会が催された。

本山の行事

▼平成24年4月1日～平成34年3月31日：祖師先徳鑽仰大法会期間・伝教大師・慈覚大師・恵心僧都・相応和尚の四師の忌日をそれぞれ迎える。公演・写経・結縁灌頂などが各地で実施される予定▼6月2日：伝統宗教シンポジウム「宗教と環境―自然との共生―」（グランヴィアホテル京都／天台宗・高野山真言宗・神社本庁・読売新聞社）▼7月23日～8月20日：慈覚大師「円仁展」（東京虎ノ門中国文化センター）▼7月28日：比叡山仏教文化講座（比叡山延暦寺）▼8月3・4日：比叡山宗教サミット25周年記念（京都国際会議場・比叡山延暦寺／講演：哲学者・梅原猛、シンポジウム・フォーラム・祈りなど）▼8月21日～日25日：戸津説法（大津市）

お寺の行事

▼7月29・30日：愛宕権現祭（火防祭）29日宵祭・子供御輿・花火大会／30日火防守護祈願（南牧消防団海尻分団様来山）▼8月1日：お墓参り（佐久地方）▼8月13～16日：お盆（盂蘭盆会）▼9月秋分の日：秋彼岸会▼11月24日：霜月会（天台大師の忌日）

新井鶴雄氏逝去：6月11日逝去。当院檀徒総代として三十余年に亘り寺院の護持発展に力を尽くされ、特に南牧村野辺山地区の檀徒教化にご教導頂いた。謹んで哀悼の意を表します。

天台宗寺院紹介④　青蓮院門跡

上）　相阿弥造の築山泉水庭庭園
右上）　霧島の庭：小堀遠州造の水庭園
右下）　春秋に開催される夜の特別拝観のライトアップ
左）　青不動明王図像（国宝）：日本三大不動の一つ

青蓮院門跡は、宗祖伝教大師最澄が比叡山延暦寺を開くにあたって、山上に造られた住坊の一つ「青蓮坊」が起源であるとされる。平安時代末期に、青蓮坊第十二世行玄大僧正に鳥羽法皇が御帰依になり、その第七皇子を弟子とされ、院の御所に準じて京都に殿舎を造営した。青蓮院を改称されたのが門跡寺院としての始まりである。

第三代門主慈圓（藤原兼実の弟）は、名著「愚管抄」を残し、新古今時代の歌人としても有名。浄土真宗の祖師である親鸞聖人は、慈圓門主のもとで得度したため、青蓮院は同宗の聖地ともなっている。室町時代には、後に室町幕府第六代将軍足利義教となる義圓が門主を務めた。

現在の青蓮院名誉門主東伏見慈洽師は、香淳皇后（昭和天皇の后）の弟である。

青　蓮　院　門　跡

住所：京都市東山区粟田口三条坊町６９－１
拝観時間：９：００～１７：００（１６：３０受付終了）
拝観料金：大人５００円　中高生４００円　小学生２００円
詳しくは、ＨＰ（http://www.shorenin.com/）をご覧下さい。

平成２４年　暑中見舞い申し上げます　盛夏

住職　矢崎長勉
副住職　矢崎長潤

醫王院役員一同
醫王院総代総務
吉井　小井　井薩　高見　田澤　出池　出田　澤孟　武松　正基　光敦　治彦　久彦　近治

監事
吉沢　井出　出澤　一義　宣市

総代
今井　井出　高見　高澤　畠山　有坂　高澤　坂井　忠澤　玉澤　瑞出　龍井　好英　敏初　功淳之　明夫　政助　穂一　人
浅川　小池　田中　中嶋　井澤　薩田　広田　澤沢　高澤　坂本　澤坂　山澤　澤井　澤出
勝政　正太　岸三　利寅　二郎　好夫　寅子　勤啓　俊
芳六　登郎

醫王院寺族一同
醫王院法類・組寺総代一同